



書館通信



豊能町立とよの西学園 学校図書館

令和8年(2026) 7月

後期課程版 No.4

新しく入った
本を紹介します

有意義な夏休みを！



さあ、長い夏休みがはじまります。始まりは長く感じても、過ぎ去ればあっという間。後半に慌てることなく、有意義な毎日を送ってください。そして、くれぐれも体調に気をつけて、元気に過ごしてくださいね。

ギリギリスのしあわせ



トーン・テレヘン

森のはずれのギリギリスの店。窓には、大きな文字で、こう書かれていた。なんでもあります(太陽と月と星以外)。親切で働きもののギリギリスの店には、今日もまたどうぶつたちがやってくる。

いちばんの願い



トーン・テレヘン

願いが実現しないかぎり、願いは存在しつづける。63のどうぶつそれぞれに、まったくばらばらの奇妙で切実な願いがあり、その奇妙さが私たちの心を映し出す

こどもたちのための最悪辞典



林 木林

それでも、人は悪いことをしてしまう。11編の最悪な結末のお話を読んで、人生において大切なことを学ぶ、それが『最悪事典』。決して他人事ではない気持ちになる1冊です。

へそまがりの魔女



安東みきえ

暗い森に住む、年老いた呪いの魔女。人間嫌いのその魔女の元をある日、一人の少女が訪ねてきて…。へそまがりすぎて、呪うことしかゆるされない魔女と、少女の心あたたまる物語。

ぼくが消えないうちに



A. F. ハロルド

ラジャーは、アマンダの想像でつくり出した親友。二人はいつも一緒に、楽しい時間を過ごしていた。だが、ある日突然、二人は離ればなれになってしまう…。愛と友情、喪失の物語。

ぼくたちは、 あらそうために生きるのか？



山極 寿一

ヒトは、わかりあいたいという気持ちによって、この世界を生きのびてきた。世界的な霊長類学者が子どもたちに贈る希望のメッセージ。

王さまのお菓子



石井 睦美

フランスの新年を祝うお菓子、ガレット・デ・ロワ。日本語にすると「王さまのお菓子」。それは、しあわせのお菓子。大切な誰かを想う、めぐりゆく優しさを描いた物語。

おしごとそうだんセンター



ヨシタケシンスケ

地球に不時着した宇宙人がやってきたのは、ちょっと風変わりな職業相談所。宇宙人は相談所のスタッフと一緒に、この星で生きていくこと、働くことの意味について考えはじめる。

どろぼうジャンボリ



阿部 結

まちのみんなが眠る夜。ジャンボリは仕事にとりかかる。いったい何を盗むと思う？盗まれたのは、大事な言葉！

それ犯罪かもしれない図鑑



監修/小島 洋祐

冒険心で、あるいは、いたずら心でやってしまいそうな行動から、明らかな NG 行動まで、言わないと気づけない違法行為の数々を紹介。法律を身近に感じられる楽しい一冊。

～お知らせ～

学校図書館は夏休み期間中は閉館しています。

2 学期は **8 月 31 日(月)** から開館します

